

平成29年度

事業報告書

平成30年3月31日

社会福祉法人 福岡県共同募金会



# 目 次

事業の概要	1
1 法人の運営	2
2 市区町村支会の支援	2
3 広報活動の強化	2
4 募金推進への取組	4
5 募金実績及び募金活動の取組	5
6 適正かつ効果的な配分の実施	8
7 社会福祉協議会との連携強化	9
8 顕彰の実施	9
9 災害復興に対する支援	10
10 受配者指定寄付金の普及と活用促進	11
11 公益補助事業等への協力	11
事業報告附属明細書	13



## 事業の概要

近年の社会経済状況の変化に伴い、共同募金運動を取り巻く環境は依然厳しく、本県の募金実績は平成11年度をピークとし、全国と同様に減少傾向が続いている。また、平成29年7月九州北部豪雨の影響で、被災地を中心に募金実績の減少等が懸念された。

このような状況のもと、各市区町村支会においては、役職員をはじめボランティアの方々の協力により、募金実績の7割以上を占める戸別募金の確保のため様々な取組を行うとともに、法人募金や職域募金の新規開拓、「赤い羽根自販機」の設置推進等に積極的に取り組んだ結果、被災地を含め県内の募金実績の減少は最小限にとどめることができた。

さらに、共同募金運動創設70年を契機に、本県におけるこれまでの共同募金運動の状況を踏まえたうえで、今後の共同募金運動の在り方を、本会共同募金推進委員会及び同作業部会において協議し、さらに各支会からの意見集約を加えて、「福岡県における共同募金運動の方向性と推進方策」を策定した。

広報活動については、本年度も福岡ソフトバンクホークスの本多雄一選手（福岡県出身）に赤い羽根応援大使として協力いただくとともに、福祉教育の一環として取り組んでいる赤い羽根キャッチフレーズ募集にも積極的に取り組み、県内の児童・生徒から6,033点の作品を応募いただいた。

この他、様々な取組で県民の皆様から寄せられた一般募金、歳末たすけあい募金については、社会福祉法第115条に基づき設置している配分委員会において、申請施設・団体の調査及び審査を実施し、公正に配分を執り行った。

さらに、九州北部豪雨災害に関しては、福岡県、日本赤十字社福岡県支部と連携して、被災地支援のための義援金募集に取り組むとともに、福岡県内の3市町村5カ所に設置された災害ボランティアセンターを支援するため、災害等準備金を活用し、活動拠点事務所支援資金を交付し、福岡県、福岡県社会福祉協議会と協働して積極的に被災地復興支援に取り組んだ。

本年度の具体的な取組は、次のとおりである。

## 1 法人の運営

### (1) 評議員会の開催（2回）

第205回評議員会 （定時評議員会）	平成29年 6月28日	春日市
第206回評議員会	平成30年 3月26日	春日市

### (2) 理事会の開催（4回）

第336回理事会	平成29年 4月 6日	春日市
第337回理事会	平成29年 6月 8日	春日市
第338回理事会	平成29年 6月28日	春日市
第339回理事会	平成30年 3月16日	春日市

### (3) 監事会の開催（1回）

監事会	平成29年 5月26日	春日市
-----	-------------	-----

### (4) 評議員選任・解任委員会の開催（1回）

評議員選任・解任委員会	平成29年 6月 8日	春日市
-------------	-------------	-----

## 2 市区町村支会の支援

### (1) 会議等の開催

ア 支会会長・事務局長会議	平成30年 1月12日	春日市	73名
イ 新任者研修会	平成29年 4月28日	春日市	26名
ウ 担当職員研修会	平成29年 8月28日	春日市	39名

### (2) 個別支援の実施

- ア 市区町村支会の各種会議・研修会等への本会職員の派遣（14市区町）
- イ 市区町村支会への本会職員による個別訪問（7市町）

## 3 広報活動の強化

### (1) 赤い羽根データベースシステム「はねっと」による情報公開の推進

インターネットによるデータベースシステムを活用し、配分使途等の情報を公開した。

### (2) 福岡県共同募金会ホームページによる情報公開の推進

本会ホームページにおいて、共同募金運動等の情報を公開した。

### (3) 赤い羽根応援大使等による広報啓発

前年度に引き続き、福岡ソフトバンクホークスの全面的な協力のもと、本多雄一選手（福岡県出身）に赤い羽根応援大使として、ポスター・チラシ・パンフレットへの写真掲載など、共

同募金運動のPRに協力いただいた。

また、平成25年度から作製している球団マスコット（ハリーホーク）と赤い羽根がコラボレーションしたバッジを本年度も作製し、広報活動を強化した。

さらに、共同募金運動啓発のため、ポスター等の一般公開と併せて本年度の募金推進キャッチフレーズの記者発表会を実施した。

記者発表会 平成29年8月24日 福岡ヤフオクドーム内プレスカンファレンスルーム

#### （４）広報活動の推進

##### ア 広報啓発資材の活用

###### （ア）全戸配布チラシの作成・配布及び裏面活用（地域版）の推進

前年度の募金配分結果及び今年度の募金への協力依頼を掲載

- a 作成・配布 949,700部
- b 裏面活用 64支会

###### （イ）街頭募金用チラシの作成・配布

- a 作成・配布 54,000部
- b 活用 35支会

###### （ウ）共同募金パンフレットの作成・配布

- a 作成・配布 26,200部
- b 活用 51支会

###### （エ）共同募金リーフレットの作成・配布

- a 作成・配布 13,200部
- b 活用 29支会

###### （オ）共同募金ボランティアハンドブックの作成・配布

- a 作成・配布 32,500部
- b 活用 48支会

###### （カ）募金運動啓発ポスターの作成・掲示

- a 作成・配布 17,370枚
- b 掲示先 県内の学校、社会福祉施設、社会福祉協議会、銀行等

##### イ 封筒の裏面活用

本会封筒の裏面を活用し、配分用途等の情報を広く周知した。

作成数 22,500部

##### ウ 福岡県社会福祉協議会広報誌による広報

県社協広報誌「ふくおかのふくし」（20,000部発行、3,941カ所に年6回配布）に共同募金の取組に関する記事を掲載し、県民の方々へ理解と協力を求めた。

##### エ マスコミによる広報推進

共同募金運動に係る各種イベント開催や新規取組など、資料提供や取材依頼を行い新聞・テレビ・ラジオ等の協力による広報活動を展開した。

## (5) 福祉教育の推進

共同募金運動や社会福祉全般についての県民の理解促進や福祉教育の一環として、福岡県、北九州市、福岡市の各教育委員会の後援のもと、児童・生徒に対し、募金運動推進キャッチフレーズを公募した。

また、最優秀作は、本年度の運動推進のキャッチフレーズとして活用した。

### ア 募集期間

平成29年4月24日から6月7日まで

### イ 選考

第1回共同募金推進委員会（平成29年6月30日）

### ウ 応募総数

6,033点（小学校12校・中学校15校・高校8校・特別支援学校3校の計38校）

### エ 入選作品及び特別賞

(ア) 最優秀作 「赤い羽根つなぐ地域と笑顔の輪」

置鮎 りおさん（福岡県立福岡講倫館高等学校3年・福岡市早良区）

(イ) 優秀作 12作品

(ウ) 特別賞 26校

### オ 表彰

最優秀作受賞者は、福岡県社会福祉大会表彰式において表彰を行った。

また、優秀作受賞者及び特別賞受賞校は、該当支会代表者とともに各学校を訪問し、表彰状の授与を行った。

## 4 募金推進への取組

### (1) 共同募金推進委員会の開催

第1回 平成29年 6月30日 春日市

第2回 平成30年 2月27日 春日市

### (2) 共同募金推進委員会作業部会の開催

第1回 平成29年 6月16日 春日市

第2回 平成29年 8月 1日 春日市

第3回 平成29年11月27日 春日市

第4回 平成30年 2月 5日 春日市

### (3) 市区町村支会モデル指定事業の実施

共同募金の実績向上を図るため、福岡市支会・大牟田市支会・直方市支会・八女市支会・岡垣町支会をモデル指定し、地域の実情に応じ、協働して新たな取組を行った。



#### (4) 赤い羽根自販機の設置促進

売上の一部が募金される自動販売機「赤い羽根自販機」の設置を促進し、本年度は12市町に30台の赤い羽根自販機が新たに設置された。

※赤い羽根自販機設置状況 51市町 376台（平成30年3月31日現在）

#### (5) 募金百貨店プロジェクトの普及・啓発

売上の一部が募金される寄付つき商品「募金百貨店プロジェクト」の普及・啓発に努め、各支会・企業等と共同して開発等を行った結果、本年度は、4市町で新たに寄付つき商品が誕生した。

※協力企業・事業所数 13市町 110社（平成30年3月31日現在）

### 5 募金実績及び募金活動の取組

#### (1) 目標額及び実績額

##### ア 一般募金

目標額は、各支会の前年度（平成28年度）実績額とした。

(ア) 目標額 633,418,678円

(イ) 実績額 625,000,833円

##### イ 歳末たすけあい募金

目標額は、各市区町村社会福祉協議会の申請額をもとに募金計画を作成し、運動を展開した。

(ア) 目標額 101,083,730円

(イ) 実績額 101,282,804円

a NHK歳末たすけあい募金（県域） 15,479,293円

協力企業・団体…NHK福岡放送局・NHK北九州放送局・福岡銀行・西日本シティ銀行・筑邦銀行・福岡中央銀行・北九州銀行・福岡県信用農業協同組合連合会・福岡県信用漁業協同組合連合会・西日本新聞民生事業団

b 地域歳末たすけあい募金 85,803,511円

※地域歳末たすけあい運動実施支会 34支会

##### ウ 地域課題解決型募金（テーマ型募金）

目標額は、団体が用途計画を作成する際の申請額に事務経費等を加えた額とした。

(ア) 目標額 1,362,500円

(イ) 実績額 245,781円

エ 実績額合計 726,529,418円

※平成28年度募金実績 743,458,492円

オ 募金方法別実績

(単位 円)

募金方法	一般募金		歳末たすけあい募金		テーマ型募金	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
戸別募金	451,809,544	72.29%	74,877,525	73.93%		
街頭募金	5,170,931	0.83%	1,034,113	1.02%		
法人募金	85,837,888	13.73%	4,832,414	4.77%	15,625	6.36%
学校募金	4,306,328	0.69%	198,807	0.20%		
職域募金	12,496,523	2.00%	2,965,196	2.93%		
イベント募金	2,841,660	0.45%	274,519	0.27%		
バッジ募金	3,746,496	0.60%				
クオカード募金	12,822,408	2.05%				
図書カード募金	6,551,220	1.05%				
ボールペン募金	2,988,035	0.48%				
個人募金	17,167,958	2.75%	13,255,925	13.09%	155,036	63.08%
自販機募金	10,005,023	1.60%				
寄付つき商品	713,170	0.11%				
その他	8,543,649	1.37%	3,844,305	3.79%	75,120	30.56%
合計	625,000,833	100.00%	101,282,804	100.00%	245,781	100.00%

(2) 一般募金の取組

ア 街頭募金・啓発等

(ア) 本 会

a 赤い羽根空の第一便伝達式

7 1 回目を迎えた共同募金運動の始まりを広く県民に周知することを目的に、空の第一便（全日空）が届けた赤い羽根や厚生労働大臣、中央共同募金会会長メッセージを、福岡県知事及び本会会長等に伝達いただいた。

(a) 期 日 平成 29 年 10 月 1 日

(b) 場 所 西鉄福岡（天神）駅北口外スペース ときめき広場（福岡市中央区）

b 初日街頭募金

伝達式終了後、西鉄福岡（天神）駅周辺でボランティア 100 名の協力を得て、初日街頭募金を行った。

また、当日は、西鉄グループの協力のもと、西鉄福岡（天神）駅をはじめ、西鉄電車主要各駅の駅員の皆さんと西鉄グランドホテル及びソラリア西鉄ホテルの接客スタッフ、にしてつストアスタッフが「赤い羽根」を胸に着け、共同募金運動の開始をアピールいただいた。

(イ) 支 会

県内の 49 支会で、延べ 270 回の街頭募金を行い、協力を呼びかけた。

## イ 募金資材の活用

(ア) 着ぐるみ(愛ちゃんと希望くん)の貸出し

31回(延べ44体)の着ぐるみを貸出し、広報啓発に活用した。

### (3) 歳末たすけあい募金の取組

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに歳末たすけあい募金を県下一斉に展開した。

#### ア 街頭募金・啓発等

(ア) 本 会

##### a 初日街頭募金

歳末たすけあい運動の始まりを県民に周知することを目的に、ボランティア42名の協力を得て初日街頭募金を行った。

(a) 期 日 平成29年12月1日

(b) 場 所 西鉄福岡(天神)駅周辺(福岡市中央区)

##### b NHK歳末たすけあい開始セレモニー

NHK福岡放送局及びNHK北九州放送局が実施した開始セレモニーに参加した。

(a) 期 日 平成29年12月1日

(b) 場 所 NHK福岡放送局、NHK北九州放送局

(イ) 支 会

県内の8支会において歳末たすけあい募金の街頭募金を行った。

### (4) 地域課題解決型募金(テーマ型募金)の取組

「福岡県内(広域)における地域や社会課題解決に向けて取り組む事業」を対象事業とし、下記参加団体と本会が1月から3月に募金活動を展開した。

#### ア 参加団体

(ア) 貧困支援ネットワークふくおか

(ホームレスや生活困窮者への支援活動を行っているNPO法人福岡おにぎりの会、認定NPO法人抱樸、NPO法人福岡すまいの会、公益社団法人福岡県社会福祉士会、その他団体の活動に賛同する方々により組織する連合体)

##### a テーマ

ホームレス・生活困窮者緊急一時支援

(イ) 特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡

(趣旨に賛同する個人や団体で設立後、NPO法人認証取得)

##### a テーマ

子どもにやさしいまちをみんなで考える学習会活動

#### イ 振込用紙付きチラシの作成・配布

ゆうちょ銀行振込用紙付きチラシを8,000枚作成し、団体の関係者や知人等へ配布した。

## 6 適正かつ効果的な配分の実施

### (1) 配分委員会の開催

第1回	平成29年	6月	2日	春日市
第2回	平成30年	2月	16日	春日市
第3回	平成30年	3月	6日	春日市

### (2) 配分調査

配分委員会委員による配分調査の実施

ア 件数 31件

イ 期間等 平成30年2月19日から2月28日までの間に延べ12人の配分委員と事務局職員が配分調査を実施した。

### (3) 配 分

配分委員会委員による調査及び厳正な審査を行い、社会福祉施設・団体・社会福祉協議会等への本年度の配分を次のとおり決定した。

なお、B枠及び地域歳末たすけあい募金については、支会の配分計画に基づき配分し、NHK歳末たすけあい募金については、歳末事業費、活動支援金、見舞金として配分した。

ア 一般募金

(ア) A枠（地域の施設・団体）配分

・配分件数	31件
・配分総額	48,550,000円

(イ) B枠（地域）配分

・配分件数	79件
・配分総額	477,204,200円

イ 歳末たすけあい募金

(ア) NHK歳末たすけあい募金配分（地域）

・配分件数	452件
・配分総額	13,364,000円

(イ) 地域歳末たすけあい募金配分

a 地域福祉・在宅福祉サービス事業

・配分件数	4,140件
・配分総額	72,093,098円

b 見舞金贈呈事業

・配分件数	3,959件
・配分総額	13,674,425円

平成29年度共同募金配分総括表 (単位 円)

配分枠		配分額
一般募金	A 枠	48,550,000
	B 枠	477,204,200
歳末たすけあい募金		99,131,523
合 計		624,885,723

#### (4) 公 告

社会福祉法第120条(結果の公告)に基づき、平成28年度(平成29年度事業)募金実績、配分内容等を掲載した機関誌「赤い羽根共同募金」を4,600部作成し、関係機関・団体に配布した。

また、本会ホームページに機関誌「赤い羽根共同募金」を掲載し、公開した。

### 7 社会福祉協議会との連携強化

#### (1) 福岡県社会福祉協議会との共催による福岡県社会福祉大会の開催

福岡県社会福祉大会 平成29年10月25日 春日市 1,055名

#### (2) チャリティー福引きの実施による募金の受入れ

第17回福岡県ねりんスポーツ・文化祭において、企業・団体等の協賛を得て福岡県社会福祉協議会が実施したチャリティー福引きの収益金全額を共同募金として受入れた。

チャリティー福引き 平成29年11月11日 北九州市若松区

### 8 顕彰の実施

#### (1) 福岡県共同募金会会長表彰・感謝

ア 顕彰選考委員会の開催

平成29年 8月17日 春日市

イ 福岡県社会福祉大会において次のとおり顕彰を行った。

(ア) 会長表彰 29名・2団体

(イ) 優秀地区(支会)表彰 22支会

(ウ) 会長感謝 63名・15団体

ウ 篤志寄付者に対する感謝を次のとおり行った。

(ア) 会長感謝 8名・103団体

#### (2) 中央共同募金会会長表彰・感謝

ア 中央共同募金会顕彰規程に基づく奉仕功労者表彰、従事功労者表彰及び篤志寄付者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

- (ア) 会長表彰 6名
- (イ) 会長感謝（感謝楯） 6団体
- (ウ) 会長感謝（感謝状） 4名・7団体

### （3）厚生労働大臣表彰・感謝

ア 厚生労働大臣表彰実施要領及び感謝状贈呈要綱に基づく共同募金運動奉仕者、奉仕団体表彰及び共同募金会に多額の寄付を行った者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

- (ア) 大臣表彰 1名・1団体
- (イ) 感謝状 1名・1団体

## 9 災害復興に対する支援

### （1）平成29年7月5日からの大雨災害の取組

平成29年7月の豪雨災害で被災された方々を支援するため、福岡県及び日本赤十字社福岡県支部と協力し、平成29年7月10日から、「平成29年7月からの大雨災害義援金」を募集した。

ア 募集期間 平成29年7月10日から平成30年9月28日

イ 義援金額 1,608,078,206円（平成30年3月31日現在、本会取扱分のみ）

### （2）災害等準備金の運用

災害等準備金は、社会福祉法の規定に基づく全国の申合せにより常に3年間分を積み立てており、平成29年度は、平成26年度から平成28年度の積立金を準備金とした。

ア 災害等準備金の取り崩し

3年間を経過した積立金については取り崩しを行い、平成29年度に再配分した。

平成29年度取崩金 11,480,424円（平成25年度積立分）

イ 災害等準備金の拠出

平成29年7月5日からの大雨災害の被災地における災害ボランティアセンターの支援等のため、平成26年度積立分の一部を拠出した。

災害等準備金拠出額 14,172,231円

ウ 災害等準備金の積み立て

災害支援制度運営要綱に基づき、平成29年度募金総額の3%を災害等準備金として積み立てた。

(ア) 平成29年度積立金 21,795,844円

(イ) 災害等準備金積立額 74,987,421円（平成30年3月31日現在）

### （3）他都道府県災害義援金募集

他都道府県で募集が開始された災害義援金について、各市区町村支会及び福岡県庁、福岡県社会福祉協議会に対し募集の協力依頼を行うとともに、本会ホームページに募集要項を掲載し、周知に努めた。

- ア 平成28年熊本地震義援金  
平成28年 4月15日から平成31年3月31日
- イ 大分県豪雨災害義援金  
平成29年 7月11日から平成29年12月28日
- ウ 秋田県大雨災害義援金  
平成29年 7月27日から平成29年 8月31日
- エ 台風18号大分県災害義援金  
平成29年 9月21日から平成30年 3月30日
- オ 台風21号三重県災害義援金  
平成29年10月31日から平成30年 1月31日
- カ 和歌山県平成29年台風第21号災害義援金  
平成29年11月 2日から平成30年 1月31日

## 10 受配者指定寄付金の普及と活用促進

中央共同募金会の審査結果に基づき決定した寄付金を受入れ、指定された事業に配分した。

- ア 寄付額 5件 536,383,263円
- イ 配分額 5件 530,978,911円

## 11 公益補助事業等への協力

### (1) 平成29年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業

本会が推薦を行った助成事業は、下記のとおり決定した。

- ・件数 8件
- ・助成額 10,470,000円

施設整備費目録贈呈式 平成29年11月21日 北九州市小倉北区

### (2) 平成29年度車両競技公益資金記念財団助成事業

本会が推薦を行った助成事業は、下記のとおり決定した。

- ア 高齢者、障害者の支援を目的とするボランティア活動に対する助成事業
  - ・件数 5件
  - ・助成額 1,295,500円

### (3) 「24時間テレビ」福祉車両贈呈事業

日本テレビやFBS福岡放送をはじめ、チャリティー加盟各社（全国31の放送事業者）が行う「24時間テレビ 福祉車両寄贈事業」について、市町村社協を通じ各施設・団体・個人への周知等に努めた。

福祉車両贈呈式 平成30年 3月12日 FBS福岡放送局（福岡市中央区）





## 事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、「社会福祉法施行規則」第2条の25第3項に規定する附属明細書（事業報告の内容を補足する重要な事項）が存在しないので作成しない。

